

独立行政法人日本学術振興会・公益社団法人日本工学アカデミー  
2015 年度 日豪若手研究者交流促進事業 申請書記入要領

公益社団法人日本工学アカデミー

(全体)

- ・ 所定様式を Web サイトからダウンロードして MS Word を用いて記入してください。
- ・ 各欄の行の高さは変えても構いませんが、改ページの位置と総ページ数の変更は認めません。選考は申請書 2 ページの記載内容のみに基づいて行いますので、簡潔にして的確、かつ読み易い表現を心がけてください。補足説明のための添付資料は不要です。

(申請者基本情報)

- ・ 氏名(漢字、ローマ字)はパスポートに記載されているものを記入してください。自筆署名の必要はありませんが、所定箇所に捺印をお願いします。
- ・ 男、女はいずれかを、希望分野は募集要項2. 記載のA、B、C、D のいずれか一つを、申請書中にある○のオブジェクトを該当文字までドラッグして囲んでいただくようお願いいたします。
- ・ 生年は西暦で記入し、年齢は申請時点の満年齢を記してください。
- ・ 専門領域は 40 字以内かつ一行で記入願います。

(申請者略歴)

- ・ 学歴は大学学部卒業(もしくはそれ相当)とそれ以降の学歴を記入してください。なお海外留学については高校以降記入してください。また博士の学位を取得されている方は、博士号の種類、取得年、取得大学、博士論文題名を記入してください。なお年号はすべて西暦のみとしてください。(以下同様)
- ・ 職歴は特に研究・開発系の仕事を中心に、主なもののみ記入してください。同一機関内での部署の異動などは重要なもののみで結構です。また海外の研究機関等に滞在した経験があれば必ず記入してください。
- ・ 研究業績は、1) 研究内容とその成果の概要を分かり易く 400 字程度で記入してください。併せて 2) 国内外の研究交流推進、シンポジウムなどの企画運営、学協会の主要役職など研究企画管理面での活動実績も記入してください。最後に 3) 主要な論文、国際会議発表、特許取得、実用化、研究助成金獲得例などを記してください。多数ある場合は他xx件などと記してください。
- ・ 受賞歴は論文賞その他研究開発に関する受賞について記してください。

(志望動機・期待成果)

- ・ 自分がなぜ本事業に関心を持ち、どのような成果を期待して申請するに至ったか、またこの体験を将来どのように自分の中に生かしていくつもりか、将来どのように日豪連携の懸け橋となることができるか、などを記してください。

(豪州との接点)

- ・ 過去に豪州と何か接点を持ったことがあるか、豪州という国をどのように見ているか、などといった点

について記入してください。

(英語力)

- ・ 英語力を判断できる情報を、なるべく具体的に(TOEIC や TOEFL の点数、留学経験、海外勤務経験など)記入してください。

(訪問希望研究機関・研究者)

- ・ 豪州で訪問したい研究機関、会いたい研究者を、その理由とともに記入してください。なるべく希望に沿うように努力しますが、訪問を約束するものではありませんので、ご承知おきください。
- ・ 具体的な研究機関や研究者の名を挙げられない場合でも、どういうところを訪問したいのかについての詳細(研究内容や目的など)を記入してください。

(申請承認者・申請勸奨者)

- ・ ほぼ 2 週間にわたり職場を離れることとなりますので、申請にあたっては必ず所属部署の上長の承認を得て、その承認者の氏名・役職名の記入と捺印をお願いします。
- ・ どなたか指導的立場にある方に本事業への応募を薦められた場合には、その方の了解を得た上で、氏名・所属先・申請者との関係などを記入してください。自発的に応募した場合には空欄のままとしてください。

(提出)

- ・ 記入済み申請書に捺印したものを正本とし、またその正本を両面白黒コピーしたものを副本とし、正本 1 部(2 枚)、副本 5 部(5 枚)を、A4サイズのまま折らずに、下記あて郵送してください。平成 27 年 5 月 7 日(木)必着とします。

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4F 公益社団法人日本工学アカデミー事務局

- ・ 郵送上の手違いに備えて、念のため郵送されたものと同じ申請書の Word ファイル(捺印は不要)を電子メールに添付して下記あてにお送りください。ただし、選考は郵送された申請書で行います。

電子メール宛先: [academy@ej.or.jp](mailto:academy@ej.or.jp)

以上